

## 令和3年度「妊産婦に関する調査」フォローアップ調査(追跡調査)調査票等(案)

資料掲載順

No	内 容		掲載頁
1	「妊産婦に関する調査」 フォローアップ調査 (追跡調査)	調査票 (案)	①-24
2		リーフレット(案) 調査票送付時に同封	①-26

「平成 25 年度妊産婦に関する調査」にご回答いただいた方へ  
 出産後 8 年目アンケートのお願い

このハガキは、平成 25 年度「妊産婦に関する調査」にご回答いただいた方(平成 24 年 8 月 1 日～平成 26 年 4 月 23 日までにご出産された方)を対象として、市町村からご住所の情報提供を受けてご連絡させていただいております。

【お問い合わせ先】  
 放射線医学県民健康管理センター  
 専用ダイヤル：024-549-5180  
 (平日 9:00～17:00)  
 メール：nimpu@fmu.ac.jp  
 【お問い合わせ用 整理番号】

福島県立医科大学では、福島県の委託を受け、県民健康調査「妊産婦に関する調査」を毎年行っています。皆さまには平成 25 年度「妊産婦に関する調査」にご回答いただきありがとうございました。調査の結果から、震災前後に出産された方たちに不安をかかえている方が多いことがわかり、さらに平成 29 年度に実施した産後 4 年目の追加調査でも、支援を必要とされる方が多いことが分かりました。

また、お子さまが大きくなるにつれ、特にこのコロナ禍では、新たな悩みが出てくることもあります。そのため、出産後 8 年経った皆さまのこころと身体の健康状態の経過を伺い、不安の軽減や必要なケアの提供のお手伝いができればと考えております。今回、過去に妊産婦調査で得たご本人様の情報を基に、ご連絡させていただいております。ご回答いただいた内容により、専任の保健師、臨床心理士等からお電話させていただく場合がございます。回答は任意です。回答されなくても不利益を被ることは一切ありません。

(調査結果の詳細は当センターのホームページに掲載しています。https://fukushima-mimamori.jp/pregnant-survey/)

A、B どちらかご都合のよい方法で、ご回答いただけます。

**A ハガキの郵送**



下のキリトリ線に従ってハガキを切り離しポストに投函してください。

**B オンライン回答**

①直接アクセス(スマホなど)  
 右の二次元コードを読み込んでください。  
 整理番号とアクセスキーの入力は不要です。  
 または、  
 ②下記の URL を入力してアクセスし、オンライン用整理番号とアクセスキーを入力してください。  
<https://fukushima-mimamori.jp/nimpu>

オンライン用整理番号  
 アクセスキー

以下の質問に対して、右の回答欄の当てはまる□に✓してください。

- (質問)
- ①あなたははるだんご自分で健康だと思いますか?
  - ②ここ最近 1 ヶ月間、気分が沈んだり、憂うつな気持ちになったりすることがよくありましたか?
  - ③ここ最近 1 ヶ月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは、心から楽しめない感じがよくありましたか?
  - ④子育てに自信がもてないことが頻りますか?
  - ⑤仕事の影響について不安なこと全ての□に✓を記入してください。
- 以下の⑥、⑦は平成 24 年 8 月 1 日～平成 26 年 4 月 23 日の間に生まれとお子様についてお尋ねいたします。
- ⑥お子様はこれまでに入院された病気はありましたか?
  - ⑦お子様のことで心配なこと全ての□に✓を記入してください。

ご回答ありがとうございました。

アンケートの送り方は裏面をご参照いただき、保護シールを貼付し、投函してください。

フリガナ  
 回答者 氏 名

【お問い合わせ用 整理番号】  
 □本人 □代理(続柄)

※ お子様の人数と一番下のお子様の年齢を教えてください。  
 お子様の人数 ( ) 人  
 一番下のお子様の年齢 ( ) 歳 ( ) カ月

この調査についてのご意見、ご要望又はご自身の体調や子育ての心配事など、ご自由にお書きください。

キリトリ線

① 非常に健康だと思ふ まあ健康な方だと思ふ おそれない  
あまり健康ではない 健康ではない

② はい いいえ

③ はい いいえ

④ はい いいえ 何ともいえない

⑤ 水 食品 子どもの外遊び  
子どもの健康 育児 遺伝的な影響  
その他 ( )

⑥ はい (病名: )  
いいえ

⑦ こころと身体の発達 学校生活  
病気 生活習慣 その他 ( )

※住所に変更がございましたら、ご記入ください。

〒 郡・市 町・区 番 号  
 市・区 町・区 番 号

※ご回答内容により専任の保健師等からお電話させていただく場合がございます。平日、ご連絡がとれる電話番号をご記入ください。

電話番号 ( ) - ( )  
 携帯番号 ( ) - ( )

つながりやすい時間帯  
午前 9:00～12:00  
昼休み 12:00～13:00  
午後 13:00～17:00

左右を両面印刷し、三つ折りにし封書で発送。

回答は、はがきをキリトリ、保護用紙を貼付し返送。

### <個人情報取り扱いについて>

本アンケートに関する個人情報は、県民健康調査において使用するほか、お住まいの市町村にも必要に応じて提供させていただきます。また、アンケートへの回答や結果、回答にもとづく支援内容等については、学術的研究目的の利用及び公表（統計処理等）をしますが、個人が特定される形で公表することはありません。

郵便はがき

9601290

福島市光が丘一番地

福島県立医科大学  
放射線医学県民健康管理センター 行



料金受取人住所郵便

福島中央局  
承 3509

差出有効期間  
令和4年12月  
31日まで

「平成25年度妊産婦に関する調査」に  
回答いただいた方へ  
出産後8年目アンケートのお願い



県民健康調査

福島県・福島県立医科大学

〒960-1295 福島市光が丘1  
公立大学法人 福島県立医科大学  
放射線医学県民健康管理センター  
お問い合わせ先 TEL.024-549-5180

キリトリ線

### アンケートの送り方

1 キリトリ線に沿ってはがきを切り離してください。



2 はがきの記入欄に必要な事項を記入してください。



3 両側のシールをはがきの裏面に貼り付けて記入欄が見えないようにしてください。



4 そのまま郵便局へお持ちください。





## 子育て中のお母さんとそばにいる方へ

体調はお変わりないですか？令和元年度に実施した2回目のフォローアップ調査では、更年期や子どもの発達、家族関係の悩みなどから心身不調など、「母親のころや身体の健康」についての相談が多く寄せられました。子育て期の母親は自分自身のことがおろそかになりがちですが、そんな時期だからこそ休息と健康管理が大切です。ご自身のためにも、家族のためにも、健康診断を受けることやかかりつけ医を持つことをお勧めします。

参考：月刊母子保健、2017年12月号

## 調査に関する相談・支援のお問い合わせ

調査の回答内容から、支援が必要と思われる方には専任の保健師・臨床心理士等からご連絡いたします。また、電話やメールを通して不安や悩みに関するご相談も受け付けています。下記お問い合わせ先までご連絡ください。

公立大学法人 福島県立医科大学 放射線医学県民健康増進管理センター

妊産婦調査専用ダイヤル

024-549-5180 (平日 9:00~17:00)

妊産婦調査専用メール

nimpu@fmu.ac.jp

## 子育て等に関する福島のサービス (令和2年度)

◎ 女性の心身の健康に関する相談  
女性のミカタ健康サポートコール  
(月～金 9:00～17:00 ※祝祭日を除く)

◎ 精神的な悩みや心の健康に関する相談  
こころの電話 (福島県精神保健福祉センター)  
電話 024-535-5560 (月～金 9:00～16:00)

◎ 子どものための24時間電話相談  
ふくしま24時間子どもSOS  
電話 0120-916-024

◎ 障がい等に関する教育相談  
特別支援教育センター  
電話 024-951-5598 (月～金 9:00～17:00)

◎ 発達に関する相談  
福島県発達障がい者支援センター  
電話 024-951-0352 (月～金 8:30～17:00)

公立大学法人 福島県立医科大学  
放射線医学県民健康増進管理センター  
〒960-1295 福島市光が丘1番地  
電話 024-549-5130 (平日 9:00～17:00)  
メール kenkan@fmu.ac.jp



◎ 妊娠・出産・育児に関する相談  
子育て世代包括支援センター  
QRコード

◎ いじめ問題や不登校、休部などの教育相談  
ダイヤルSOS (福島県教育センター)  
電話 0120-453-141 (月～金 10:00～17:00)

◎ ひまこもり・不登校・いじめ・進路・ニート・発達・移行などの相談  
福島県青少年総合相談センター  
福島県ひまこもり支援センター  
電話 024-546-0006 (火～土 9:30～17:30)  
メール soudan-fukushima@gaea.ocn.ne.jp

◎ 妊産婦に関する調査について、詳しくはホームページをご覧ください。  
<https://fukushima-mimamori.jp/pregnant-survey/>  
福島 妊産婦調査 QRコード

## 令和3年度フォローアップ調査 (追跡調査) リーフレット

リーフレットについては、令和2年度内容をベースに見直しを行い、令和3年度フォローアップ調査(追跡調査)発送時に同封する予定です。

### ～県民健康

福島県と福島県立医科大学の協力を得て、調査にご協力をいただいております。

### 調査の目的

妊産婦の生活と健康状態を把握し、サポートします。

### 調査の概要



1回目 (出産後4年目)：平成23～26年度の調査に回答いただいた方に、平成27～30年度に実施  
2回目 (出産後8年目)：平成23～24年度の調査に回答いただいた方に、令和元・2年度に実施

### 令和2年度(2020年度)調査対象者

- 本調査
  - ①令和元年8月1日から令和2年7月31日に福島県内の市町村から母子健康手帳を交付された方
  - ②上記期間に福島県外で母子健康手帳を交付された方で、福島県内で里帰り出産された方
- フォローアップ調査 2回目  
平成24年度 (2012年度) 調査に回答いただいた方

### 調査対象者数と回答数 (令和2年6月30日現在)

調査年度	対象者(人)	回答数(人)	回答率(%)
2011	16,001	9,316	58.2
2012	14,516	7,181	49.5
2013	15,218	7,260	47.7
2014	15,125	7,132	47.2
2015	14,572	7,031	48.3
2016	14,154	7,326	51.8
2017	13,552	6,449	47.6
2018	12,838	6,649	51.8
2019	11,896	5,614	47.2

調査年度	対象者(人)	回答数(人)	回答率(%)
2011	16,001	9,316	58.2
2012	14,516	7,181	49.5
2013	15,218	7,260	47.7
2014	15,125	7,132	47.2
2015	14,572	7,031	48.3
2016	14,154	7,326	51.8
2017	13,552	6,449	47.6
2018	12,838	6,649	51.8
2019	11,896	5,614	47.2

調査年度	対象者(人)	回答数(人)	回答率(%)
2011	16,001	9,316	58.2
2012	14,516	7,181	49.5
2013	15,218	7,260	47.7
2014	15,125	7,132	47.2
2015	14,572	7,031	48.3
2016	14,154	7,326	51.8
2017	13,552	6,449	47.6
2018	12,838	6,649	51.8
2019	11,896	5,614	47.2

調査年度	対象者(人)	回答数(人)	回答率(%)
2011	16,001	9,316	58.2
2012	14,516	7,181	49.5
2013	15,218	7,260	47.7
2014	15,125	7,132	47.2
2015	14,572	7,031	48.3
2016	14,154	7,326	51.8
2017	13,552	6,449	47.6
2018	12,838	6,649	51.8
2019	11,896	5,614	47.2

調査年度	対象者(人)	回答数(人)	回答率(%)
2011	16,001	9,316	58.2
2012	14,516	7,181	49.5
2013	15,218	7,260	47.7
2014	15,125	7,132	47.2
2015	14,572	7,031	48.3
2016	14,154	7,326	51.8
2017	13,552	6,449	47.6
2018	12,838	6,649	51.8
2019	11,896	5,614	47.2

調査年度	対象者(人)	回答数(人)	回答率(%)
2011	16,001	9,316	58.2
2012	14,516	7,181	49.5
2013	15,218	7,260	47.7
2014	15,125	7,132	47.2
2015	14,572	7,031	48.3
2016	14,154	7,326	51.8
2017	13,552	6,449	47.6
2018	12,838	6,649	51.8
2019	11,896	5,614	47.2

調査年度	対象者(人)	回答数(人)	回答率(%)
2011	16,001	9,316	58.2
2012	14,516	7,181	49.5
2013	15,218	7,260	47.7
2014	15,125	7,132	47.2
2015	14,572	7,031	48.3
2016	14,154	7,326	51.8
2017	13,552	6,449	47.6
2018	12,838	6,649	51.8
2019	11,896	5,614	47.2

調査年度	対象者(人)	回答数(人)	回答率(%)
2011	16,001	9,316	58.2
2012	14,516	7,181	49.5
2013	15,218	7,260	47.7
2014	15,125	7,132	47.2
2015	14,572	7,031	48.3
2016	14,154	7,326	51.8
2017	13,552	6,449	47.6
2018	12,838	6,649	51.8
2019	11,896	5,614	47.2

調査年度	対象者(人)	回答数(人)	回答率(%)
2011	16,001	9,316	58.2
2012	14,516	7,181	49.5
2013	15,218	7,260	47.7
2014	15,125	7,132	47.2
2015	14,572	7,031	48.3
2016	14,154	7,326	51.8
2017	13,552	6,449	47.6
2018	12,838	6,649	51.8
2019	11,896	5,614	47.2

調査年度	対象者(人)	回答数(人)	回答率(%)
2011	16,001	9,316	58.2
2012	14,516	7,181	49.5
2013	15,218	7,260	47.7
2014	15,125	7,132	47.2
2015	14,572	7,031	48.3
2016	14,154	7,326	51.8
2017	13,552	6,449	47.6
2018	12,838	6,649	51.8
2019	11,896	5,614	47.2

調査年度	対象者(人)	回答数(人)	回答率(%)
2011	16,001	9,316	58.2
2012	14,516	7,181	49.5
2013	15,218	7,260	47.7
2014	15,125	7,132	47.2
2015	14,572	7,031	48.3
2016	14,154	7,326	51.8
2017	13,552	6,449	47.6
2018	12,838	6,649	51.8
2019	11,896	5,614	47.2

調査年度	対象者(人)	回答数(人)	回答率(%)
2011	16,001	9,316	58.2
2012	14,516	7,181	49.5
2013	15,218	7,260	47.7
2014	15,125	7,132	47.2
2015	14,572	7,031	48.3
2016	14,154	7,326	51.8
2017	13,552	6,449	47.6
2018	12,838	6,649	51.8
2019	11,896	5,614	47.2

調査年度	対象者(人)	回答数(人)	回答率(%)
2011	16,001	9,316	58.2
2012	14,516	7,181	49.5
2013	15,218	7,260	47.7
2014	15,125	7,132	47.2
2015	14,572	7,031	48.3
2016	14,154	7,326	51.8
2017	13,552	6,449	47.6
2018	12,838	6,649	51.8
2019	11,896	5,614	47.2

調査年度	対象者(人)	回答数(人)	回答率(%)
2011	16,001	9,316	58.2
2012	14,516	7,181	49.5
2013	15,218	7,260	47.7
2014	15,125	7,132	47.2
2015	14,572	7,031	48.3
2016	14,154	7,326	51.8
2017	13,552	6,449	47.6
2018	12,838	6,649	51.8
2019	11,896	5,614	47.2

調査年度	対象者(人)	回答数(人)	回答率(%)
2011	16,001	9,316	58.2
2012	14,516	7,181	49.5
2013	15,218	7,260	47.7
2014	15,125	7,132	47.2
2015	14,572	7,031	48.3
2016	14,154	7,326	51.8
2017	13,552	6,449	47.6
2018	12,838	6,649	51.8
2019	11,896	5,614	47.2

調査年度	対象者(人)	回答数(人)	回答率(%)
2011	16,001	9,316	58.2
2012	14,516	7,181	49.5
2013	15,218	7,260	47.7
2014	15,125	7,132	47.2
2015	14,572	7,031	48.3
2016	14,154	7,326	51.8
2017	13,552	6,449	47.6
2018	12,838	6,649	51.8
2019	11,896	5,614	47.2

調査年度	対象者(人)	回答数(人)	回答率(%)
2011	16,001	9,316	58.2
2012	14,516	7,181	49.5
2013	15,218	7,260	47.7
2014	15,125	7,132	47.2
2015	14,572	7,031	48.3
2016	14,154	7,326	51.8
2017	13,552	6,449	47.6
2018	12,838	6,649	51.8
2019	11,896	5,614	47.2

調査年度	対象者(人)	回答数(人)	回答率(%)
2011	16,001	9,316	58.2
2012	14,516	7,181	49.5
2013	15,218	7,260	47.7
2014	15,125	7,132	47.2
2015	14,572	7,031	48.3
2016	14,154	7,326	51.8
2017	13,552	6,449	47.6
2018	12,838	6,649	51.8
2019	11,896	5,614	47.2

調査年度	対象者(人)	回答数(人)	回答率(%)
2011	16,001	9,316	58.2
2012	14,516	7,181	49.5
2013	15,218	7,260	47.7
2014	15,125	7,132	47.2
2015	14,572	7,031	48.3
2016	14,154	7,326	51.8
2017	13,552	6,449	47.6
2018	12,838	6,649	51.8
201			



# これまでのフォローアップ調査結果からわかかったことをお伝えします

※調査結果は、令和2年6月30日現在のものです。

## うっ傾向の推移

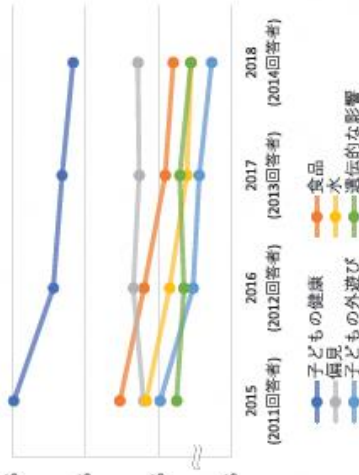
フォローアップ調査1回目の結果、2011年度と2012年度の減少幅はあまりありませんが、年ごととうっ傾向が改善しています。  
2011年度回答者は、2回目のフォローアップ調査において、さらにうっ傾向が改善しています。



## 放射線の影響について心配なこと

### フォローアップ調査1回目の年次推移

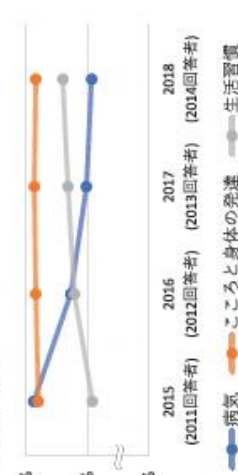
「(母乳)」「遺伝的な影響」は横ばい傾向ですが、「子どもの健康」「食品」「水」「子どもの外遊び」などに不安を感じる母親は少なくなっています。



## お子様のことで心配なこと

### フォローアップ調査1回目の年次推移

「ところと身体の発達」を心配する母親は、年ごとの増減はありません。「生活習慣」は増える傾向にあります。「病気になる」は年を追って減っています。



## 2011年度フォローアップ調査1回目と2回目の比較

2011年度フォローアップ調査2回目では、「母乳」「遺伝的な影響」の割合が2位と3位を占めました。



## 2011年度フォローアップ調査1回目と2回目の比較

2011年度フォローアップ調査2回目の方はフォローアップ調査1回目と比べて「生活習慣」の割合が増え、「病気になる」の割合が減りました。



## 主な電話相談の内容

最近では、母親のこころや身体への健康に関する相談が多くなくなっています。

Year	2011	2012	2013	2014~2017	2018~2019	2015	フォローアップ調査1回目 (2012回答者)	2016 (2013~2014回答者)	2017~2018 (2013~2014回答者)	2019 (2011回答者)	フォローアップ調査2回目 (2019回答者)
放射線の影響	20.5%	18.5%	17.5%	16.5%	15.5%	15.5%	15.5%	15.5%	15.5%	15.5%	15.5%
放射線の影響 心拍や影響	18.5%	17.5%	16.5%	15.5%	14.5%	14.5%	14.5%	14.5%	14.5%	14.5%	14.5%
母乳のこころや 身体への健康	16.5%	15.5%	14.5%	13.5%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%
子どものこころや 身体への健康	14.5%	13.5%	12.5%	11.5%	10.5%	10.5%	10.5%	10.5%	10.5%	10.5%	10.5%
子どものこころや 身体への健康	12.5%	11.5%	10.5%	9.5%	8.5%	8.5%	8.5%	8.5%	8.5%	8.5%	8.5%
子どものこころや 身体への健康	10.5%	9.5%	8.5%	7.5%	6.5%	6.5%	6.5%	6.5%	6.5%	6.5%	6.5%
子どものこころや 身体への健康	8.5%	7.5%	6.5%	5.5%	4.5%	4.5%	4.5%	4.5%	4.5%	4.5%	4.5%
子どものこころや 身体への健康	6.5%	5.5%	4.5%	3.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%

## Q & A

### 自分でなかなか産まなくていいですか？

福島県の小学生のむし歯罹患率は53.5%と近年は減少する傾向にありますが、全国と比較し8.5%上回っています。  
小学校低学年の時期は乳歯への生え変わる時期で、奥に生える永久歯は12~13歳ごろに生えそそろいます。フック糸入り歯磨き粉を使用し、歯磨きの回数が多いと、歯は歯肉の仕上げ磨きをし、歯の磨き方を気に付けてあげましょう。また、おやつや食後に歯を磨くのが難しい場合は、口をすすぎたり、水やお茶を飲む習慣を身につけた方がいいです。



### おねしょを治すには、どうすればいいですか？

5歳以降は1か月に1回以上の夜尿が3か月以上続くこと」を夜尿症と言いますが、小学校入学時におよそ10人に1人以上に1回以上の夜尿が3か月以上続くこと」を夜尿症と言います。  
寝る前の水分を控える、寝る前におしっこさせる、寝る前には、尿意を感じたとき、温かくして眠ることがよいため、成長とともに自然に治ると言われています。寝ている場合には、尿原器科や小児科で治療が可能ですので、相談をお願いします。



### 学校から帰ると、イライラして顔や物に当たることがあります。注意すべきでしょうか？

家で親に当たる子どもは、学校では周囲に気を遣い、かたがたがなっているからかもしれません。子どもの気持ちを理解し、受け止め、親の気持ちを伝えながら、子どもの自立にむけて付き合っていくことが大切です。  
場合によっては、子どものイライラを受け入れる「程度」を決める「報酬」を定めることも必要です。「報酬」も子どもの理解に合わせたタイミングで、長時間のお説教をするよりは、子どもと一緒にルールづくりに取り組み、うまくいった時には褒めてあげましょう。  
子どもの対応に悩んだ際には、一人で頑張らず、裏面の相談先一覧の連絡先等を活用しましょう。



### スマホやゲームに熱中しすぎて、肌れがちな生活リズムを整える方法はありますか？

小学校低学年の子どもの7割近くがインターネットを利用し、年齢が上がるほど利用時間も高くなっていきます。その内容は、勉強などの利用よりも動画視聴やゲームの利用が多くなっています。平成30年には、世界保健機関がゲーム依存を疾患に認定しています。  
インターネットはそれ自体が目的ではなく、職業生活を充実させるためのツールです。子どもがゲーム、ネット以外で楽しむことを増やし、ゲーム、ネット以外にも居場所があると思えることが大事になります。保護者が子どもの利用時間や利用環境を整え、「やり続けられない」ようにすること、ルールの内容を家族全員で相談し、家族全員がルールを守っていくことが大切です。  
参考：令和元年年度 青少年のインターネット利用調査（内閣府）、  
スマホ時代の子育て 幼児・児童層（内閣府）、とらきよの地域教育 No.137



「妊産婦に関する調査」の最新の結果は、ホームページに掲載しています。

<https://fukushima-mimamori.jp/pregnant-survey/result.html>



妊産婦調査 結果 検索